



宮城県版  
親の学びのプログラム  
親のみちじるべ

2弾ステージ①S

# これって反抗期？

成長している証拠って言うけれど・・・

～子どもの心に向き合おう～



幼い頃は、お父さん・お母さん・先生の言うことに  
「はい」って答えてくれていたのに・・・。  
なんか最近、素直じゃないというか、  
口ごたえやヘリクツが増えたみたい・・・。  
これって反抗期？どうしたらいい？

本日の進行役

## みんなのルール

- ・話をしたくない時は、聞いているだけでもいいですよ。
- ・うまく話ができなくてもいいですよ。
- ・他の人が話している時は、みんなで聞きましょう。
- ・プライベートな話は外へ持ち出さないようにしましょう。
- ・この時間を楽しみましょう。

～お願い～

- ・携帯やスマートフォンはマナーモードまたは電源 OFF にご協力ください。

# 「こんなとき、どうしますか？」

## エピソード

小学校5年生の息子がいます。名前はショウです。最近、ちょっと態度が反抗的になってきて、どう対応していいか、分からなくなる時があります。



何か質問しても、なかなか返事もしないので、少し強い口調で尋ねると、プイッと怒ってしまい、外へ出てしまったり、常にイライラしたりしている様子……。

学校から帰ってくると、勉強はそっちのけで携帯型ゲームに夢中です。そのためなのか、テストの成績も下がる一方です。



ある日、このままではだめだと思い、かなり抵抗されましたが、無理やりゲーム機を取り上げました。

ショウは何も言わず、部屋の扉をバーンと勢いよく閉め、部屋に閉じこもってしまいました。部屋の中から、ドンドンと壁や物にあたっているような音が何度もしていました。

少し時間がたってから「ごはんだよ」と、声をかけても返事がありません。



おしらせ

文部科学省ホームページ

家庭教育を応援するために様々な情報を提供しています。

詳細はこちら



【家庭教育手帳】：子育て・親育ち・家庭教育を応援するために、乳幼児編、小学生（低・中学年）編、小学生（高学年）中学生編があります。

# みんなで考えてみよう!

## ワーク1


部屋に閉じこもったショウ君は、どんな気持ちになっていると思いますか？  
また、どのようなことを考えていると思いますか？  
(ショウ君の立場になって考えてみましょう)



## ワーク2

あなたがショウ君の家の人だったら、どうしますか？

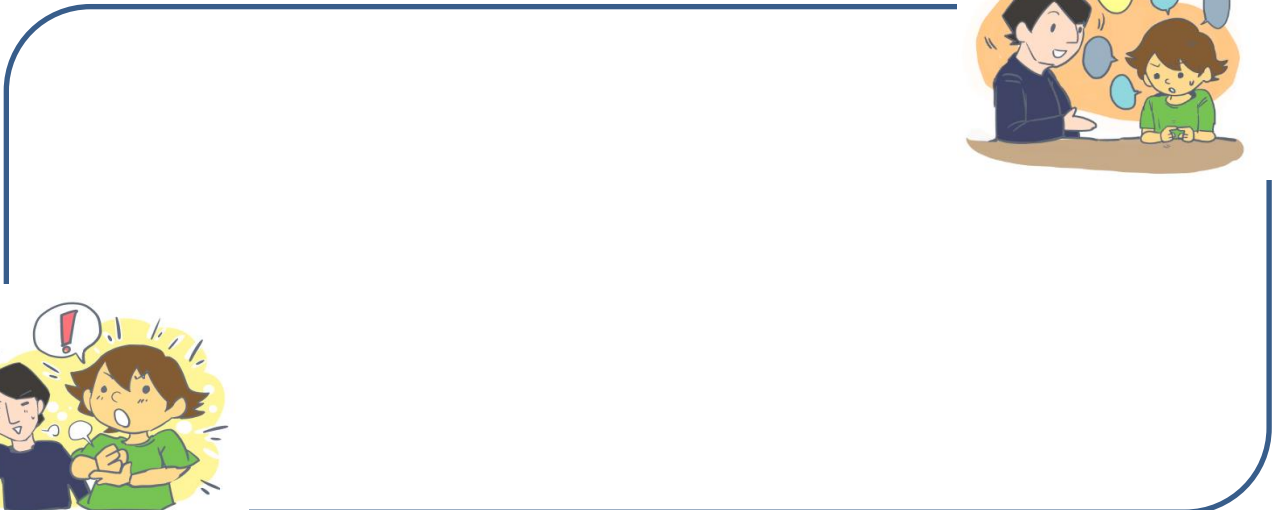
返事もしない・・・  
ゲームばかり・・・



## ワーク3

このあとショウ君の家の人が、ショウ君と向き合うには、  
どんなきっかけや、方法が考えられるでしょうか？

反抗期の子どもに対して、どのようなかわり方をすると良いでしょうか？  
みんなで考えたり、話し合ったりしてみましょう。



# 反抗期…？

反抗期とは？精神発達の一過程です。2・3歳の幼児期に意志が芽生え、自我感情が発達し、他人の指示を拒否し、ときにその反対の行動をする第1次反抗期。青年期初期に自我感情が特に強く意識され、それが行動の面では反抗・抵抗として現れる場合を第2次反抗期と呼び、合わせて反抗期を形成するとされています。

## 少しのぞいてみましょう。反抗期の子どもって…

### 自分でがんばりたい!!挑戦したい!! (でもだめかもしれない)

何かできるようになりたい!!という思いと

「どうせ自分なんて…うまくできないかも…」という思いの間で揺れ動く時期

- ◆ この時期の子どもにとって大切なのは「難しいことでも頑張ったらできた(できる!)」という経験や思い(有能感の獲得)
- ◆ 幼児期以上に「学びたい」「できるようになりたい」という思いが強くなります。
- ◆ 一方で、自分ができているかいないかを客観的に把握することも可能となります。

### 自分で考えたい!! (でも考えさせてくれない) 自立と自律…

幼い頃は「お父さん、お母さん、先生の言うことなら何でも正しい」と思っていたけど、今は「自分で考えたい」という思いを抱き、自立と自律に向かう時期

- ◆ 幼児期後期以降、児童期では学校での「対等な仲間とのかかわり」が中心となり、互いに主張しながらも、お互いを尊重し合う段階へ移行します。
- ◆ 自己意識の発達に伴い、「自分の意思で選択したい」「親にも知られたくないことがある」といった個人の権利の概念も芽生えます。
- ◆ 子どもの主張(個人の権利)と「社会常識」「慣習・規則」とが対立します。価値の押しつけには特に敏感になります。

### 子どもの気持ちを考えながら… 大人の価値観をおしつけしないで!

- 子どもは大人に言われなくとも、自分ができないことや苦手なことをよく理解しています。  
→ できないことを指摘されたり、他の人と比較して頑張るように促されるのはイヤです。
- 子どもは自主性・主体性を発揮したくてうずうずしています。  
→ 子ども自身が選んだこと、やりたい気持ちを尊重しましょう。大人が先回りで判断しすぎない。失敗も大切な経験です。そばで見守ってあげましょう。
- 自分のことをわかって欲しい、認めて欲しいと願っています。  
→ 話のコシを折らずに、最後まで聞きましょう。  
「でも」、「しかし」と否定をせずに、まずは気持ちを受け止めて聞いてあげましょう。「あなたは～そう思うのね」と。

だれもが子どもとうまく向き合っているわけではありません。完璧な子育てなんてありません。あなたなりの親子関係を築いていきましょう。わたしたちはみなさんをいつも応援しています!!

～宮城県家庭教育支援チーム～